

川阪

どっほ 独歩がま

陶芸体験してみませんか

自分の好みの物が作れます。私達も作ってみました。ふだん経験したことのないことができて、とても楽しかったです。



ぜひ陶芸をしてみてください。

『ズームイン！草山』調べたことを学習発表会で発表しました。



おさらいクイズ

本郷

神社がつくられたのは、西暦何年頃のことでしょう？



- ①142年 ②842年 ③1542年

遠方

モンゴルの里のおすすめ料理は、次のうちどれでしょう？



- ①ピロシキ ②フロシキ ③ピザ

川阪

川阪でできる楽しいこととは、一体何でしょう？



- ①陶芸 ②マラソン ③川遊び

桑原

毘沙門天は何の神様でしょう？



- ①風 ②鉄 ③炎

西紀北小学校

あいさつ
日本一

○学校長○



西紀北小学校はあいさつ日本一を目指しています。あいさつ運動は、もちろん地域の人たちと一緒に

あいさつ日本一を目指していきます。

楽市楽座

かん板もぼくたちが作りました →



ぼくたちの草山の秋に楽市楽座という草山独自の行事があります。この楽市楽座では、ぼくたちが作った米・黒豆・さつまいもを売っています。今年も買っていただき、ありがとうございました。

グランマとの交流



グランマの会の方に鶴の折り方を教えてもらい、米寿の方に千羽鶴を贈るという活動があります。とても喜んでくださるということを感じるととてもうれしくなります。

北っ子広場

ゲームに熱中の駐在さん →



毎年1月に北っ子広場という行事があります。日頃お世話になっている保護者や地域の方々と交流する行事です。たてわり班でゲームをして持ち寄ったおもちゃをゲットします。先生や育友会の方々もゲームを企画してくれるので、ぼくたち私たちも楽しんでいます。

なわとび記録会



レベルは高いです。二重とびを連続でできる人がいっぱいいます。一分間に二重とびを120回とぶ人もいます。全員でリズムに合わせてとぶこともできます。毎年2月です。ぜひ見に来てください。

「草山の四季」



ぼくたち、私たちの草山

制作：平成二十四年度 西紀北小学校五年生

遠方守り神

みなさん観音さんを見たことがありますか?とても輝いています。でも、掃除はしていません。夜にはライトアップされていてとってもきれいです。

博物館もありますよ!



平和を願おう

お泊りプラン

オススメばかり

天窓

※ゲルはモンゴルの伝統的な家のことです。

観音湯

温泉いい湯♪ レストラン!おいしい♪売店!ワクワク♪グラウンドゴルフ!楽しい♪ いろいろあってまよっちゃう!

モンゴルの里



ぜひ来てください

グラウンドゴルフ

なんとゲルには壁に窓がない! そのかわり天窓があります。それに宿泊OK! モンゴル料理もおいしいです!

アルパインローズビレッジ

教会

なんと1か月に多い時には3000人~4000人!!(オー)学生さんなどにはいちごショップ150円均一のお店がオススメです! 結婚式もできますよ。



大谷にしき荘

なんとこんなに大きいのに働いている人は15人!! オススメメニューはサバずしとやみつき手羽先。ちなみに私たちのオススメはカリカリチーズと焼肉ピビンバです。宿泊OKですよ。

プレイルーム

いちごショップ

遊び場

本郷



松隣寺



松隣寺は、今から250年前につくられました。今ではなんと!! 16代目です。大きな鐘がコンピューターで「ゴーン、ゴーン」と鳴ります。お正月には、200人ぐらい来られます。

西紀町の町花がシャクナゲになったころから、松隣寺はシャクナゲ寺と呼ばれています。シャクナゲの花がとってもきれいです。ぜひ、松隣寺に来てみてください。

春日神社



春日神社は、桑原、遠方、本郷、川阪の昔からの守り神です。昔とは、なんと!! 842年も前のことです。この神社には、昔からすごく貴重なちょうくなどがあります。そして2020年ごろ、850年祭が開かれます。この祭りは50年ごとにあります。ぜひ850年祭に来てください。春日神社は草山のほこりです。

森口農園



森口農園は、昭和33年に創業されてからビックリの54年間、くりやぶどうを育てておられます。このくりやぶどうは、他の所で作られたものとはひと味違います! それは、ここの地域の温度、湿度がくりやぶどうに適しているからです。特に昼と夜の温度差がはげしいとおいしくなるそうです。森口さんはとてもおいしい愛情たっぷりのくりやぶどうを作っておられるのでぜひ来て下さい。

桑原伝説

毘沙門天 (武士・鉄の神様)

毘沙門天は大同二年平城天皇によって建てられました。平安初期の飛騨の匠(ひだのたくみ・大工)の作。左は観音様、右は不動明王、真ん中は毘沙門天をまつてあります。



和泉式部

昔、和泉式部が京都から丹後へ行く途中、桑原を通りました。その時、橋が崩れて桑原にとどまることになりました。その時、和泉式部が桑の木を植えカイコを育てました。その桑の木がた〜くさんあったことから桑原という地名が広がったと言われています。

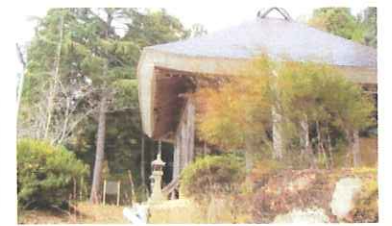


菊炭

炭は1回に300本を入れて12時間燃やします。冷めるまで5日も6日もかかります。木はいろいろ使っているそうです。くぬぎの木を焼くと、切り口が菊の形になります。



桑原はとっても緑豊かなので、ぜひ来て下さい。



~ホテルと桜あふれる炭(すみ)やすい桑原~